

家庭学習の手引

～小中を通した学ぶ力の向上を目指して～

自ら学ぶ力を

小・中学校の学習は、義務教育と言われ、子どもたちが将来社会人として自立して生きていくための基礎となるものです。特に「読み」「書き」「計算」は、欠かすことができない力で、小学校ではこれら基礎学力をしっかりと身につけさせたうえで中学校へと送り出す役目があることを重く受けとめています。

何より、子どもたち自身が学びの積み重ねを通してできることが増えれば、自信をもって生き生きと行動することができると考え、小中連携して「自ら学ぶ力」を伸ばすための方策を練り、実践に努めています。

また、基礎学力を高めるには「家庭学習の習慣化」を図り、子どもたちに「自ら学ぶ力」を培うことも大切です。特に高学年は、中学校を意識し、この「手引」を活用して子どもたちが毎日自主的に家庭学習を進められるよう、ご家庭のご支援をよろしくお願いいたします。

石狩市立花川南小学校
石狩市立花川南中学校

宿題・授業ノートの写しや振り返り

低学年

習慣づけ重視

+ 自学内容の充実

中学年

自学への移行

+ 苦手問題克服・発展問題に挑戦

高学年

自学の時間増

中学校へ

家庭学習の意義



花川南小学校で考える「家庭学習」とは

家庭でする学習のことで、**宿題**と**自主学習**の両方を指します。

- ① 宿題……学校から出された問題で、主に「読む」「書く」「計算する」等の基礎学力を主とした学習。
- ② 自主学習…その日の学習を振り返り、授業の復習をする学習。または、自分で学習したい問題を見つけ、それらを解く・調べる学習。

家庭学習によって、次のような教育的効果が期待できます。

(1) 学習内容の定着

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。漢字や計算等は、毎日繰り返し練習することで定着していきます。学校で「分かった」ことが、反復練習によって「できる」という自信に変わります。

(2) 脳の活性化

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化に繋がると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に働くようになります。鍛えれば鍛えるほど発達し、逞しくなり、脳が色々なことにうまく使えるようになります。

(3) 学ぶ習慣をつける

毎日、一定時間、決まった場所で家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身につきます。毎日続けることで、やがて当たり前の習慣になり、子どもたちの「学ぶ力」を育てるという大きな力に繋がります。小学校低学年のうちから、毎日欠かさず家庭学習をするという習慣を続けていくことが大切です。

(4) 我慢強さ・根気・集中力を身につける

家庭学習の最大の敵は、テレビやゲーム、PCやスマートフォン等の誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、我慢強さ、根気、集中力を養うことができます。テレビやゲーム等の時間を決めて、学習や読書等の時間をしっかりと確保することが大切です。そのためには、テレビを消す、スマートフォンの使用を控える等の「ノーメディアデー」を設定する、みんなで読書をする、といった家族全員の協力が必要です。

(5) 家族のふれあい

低学年のうちから「本を読んでいる時、横で聞いてあげる」「勉強が分からない時、教えたり調べたりしてあげる」等、学習をしている子どもに親が関わることで、コミュニケーションが図れます。タブレットドリル等を活用するときも親子のコミュニケーションはやはり大切です。家族のふれあいの機会が増えることは、やがてくる思春期（大人への入り口）の子どもたちとの対応にも影響し、親として適切なアドバイスも可能になり、心身ともに健やかな子どもの育成に繋がります。

安心・集中して学べる環境づくり

学習時間の目安 「学年×10+10分」を目標に

子どもが、集中して家庭学習に取り組むには、次の点に配慮することが大切です。

その1 生活のリズムを整える

- ① 「早寝・早起き・朝ごはん」や朝の排便等、規則正しい生活を送らせる。
- ② 睡眠時間を十分に取らせ、食事に気を配る。
- ③ テレビやゲーム、スマートフォンの時間等の決まりを作り、約束事を守らせる。

その2 学ぶ雰囲気をつくる

- ① 学習の場所は、学習机でも食卓でもよいが、静かで集中できる所で行うようにさせる。(テレビを消す、スマートフォンを近くに置かない、集中させる。)
- ② 学習時間を決めて、「短時間で集中的に」行うようにさせる。
- ③ 身の回りの整理整頓をさせる。(机の上は、学習に使う物だけ。)
- ④ 学校で使う道具・持ち物の準備・点検の習慣を身につけさせる。(忘れ物ゼロへ。)
- ⑤ 読書の時間を決め、続けるようにさせる。(小学校低学年では、一緒に読んだり、音読を聞いてあげたりすることが、大きな励みになる。)

その3 子どもとできる限り対話をする

- ① 子どもが学校で頑張っていることや困っていることなど、日頃からの対話を通して理解する。
- ② 新聞記事やニュース等を話題にして、社会への関心を広げる。
- ③ 自分の夢を探したり、それを実現するための方法についてアドバイスしたりする。

その4 努力を認め 励ます

- ① 「よくできたね」「ていねいに書けたね」「大きな声で読めたね」等、子どもの頑張りを褒める言葉かけを行う。(「どうしてできないの」等の声かけは逆効果。)
- ② 「この問題、分からない」と言う時、「教科書を持って来てごらん」「自分ならこうやるよ」と、子どもの努力に力を貸す。やってみて、はっきりしない時は「明日、先生に聞いてごらん」と、アドバイスする。

小中9年間を通じた家庭学習 ～各学年の目標と学習時間の目安～

学 年	目標やかかわり	学習時間
小学1年生	何もかも知りたい、できるようになりたい気持ちでいっぱい時期です。家庭での学習は、家庭の手助けが全面的に必要です。	20分以上
小学2年生	「やったね」「よくできたね」の褒め言葉がやる気に繋がります。家での学習は、家族の手助けがまだ少し必要です。	30分以上
小学3年生	理科、社会科、総合的な学習の時間が始まる3年生、「急に勉強が難しくなった」と戸惑いをもつ子が出てきます。自信をもたせたり、意欲をもたせたりするような励ましが大切です。	40分以上
小学4年生	「話し言葉」から「書き言葉」の獲得の時期となります。見たり触ったりできない抽象的な言葉が大変多くなり、直感的な思考から論理的な思考へと変わる時期です。好奇心が旺盛になり行動範囲が広がります。	50分以上
小学5年生	家庭科の学習が始まり、社会や世界に向けた学習もします。得意な科目、好きな分野が見つかり勉強好きになるきっかけになります。	60分以上
小学6年生	小学校の学習のまとめをして、中学校へ繋げる大切な学年です。競争心が芽生える時期ですので、よい友人関係の中で自分を高めていくことが大切です。	70分以上
中学1・2年生	教科毎に先生が替わる、いわゆる教科担任制になります。学習内容が小学校に比べ深まり、量も多くなります。部活動等も始まり、生活リズムが大きく変わります。まず、中学生の生活リズムに慣れることが大切です。	70分 ～80分以上
中学3年生	中学1・2年生からの総復習の時間が必要です。日頃の授業を大切にして、基礎・基本を確実に身につけることが必要です。学校では、行事や部活動において中心的な立場です。時間の使い方を工夫し、学習との両立を図りましょう。	90分以上

※各学年の身につけさせたい力や具体的な学習の仕方などは、別紙：「花川南小・家庭学習の方法（学年別）」にてご確認ください。

はなかわみなみしょう かていがくしゅう ほうほう
花川南小「家庭学習」の方法（1年生）

もくひょう ぶんいじょう
目標：20分以上（学年×10+10分）

*まずは、^{しゅくだい}宿題（ドリル）をがんばりましょう。

*なれてきたら、ノートを使って、^{つか}ノートを使って、^{しゅくだい}宿題にとりくみます。

*さらに、なれてきたら、^{じしゅがくしゅう}自主学習にもチャレンジします。

<学年通信> *「くりかえし漢字ドリル」や「キュビナ」を使います

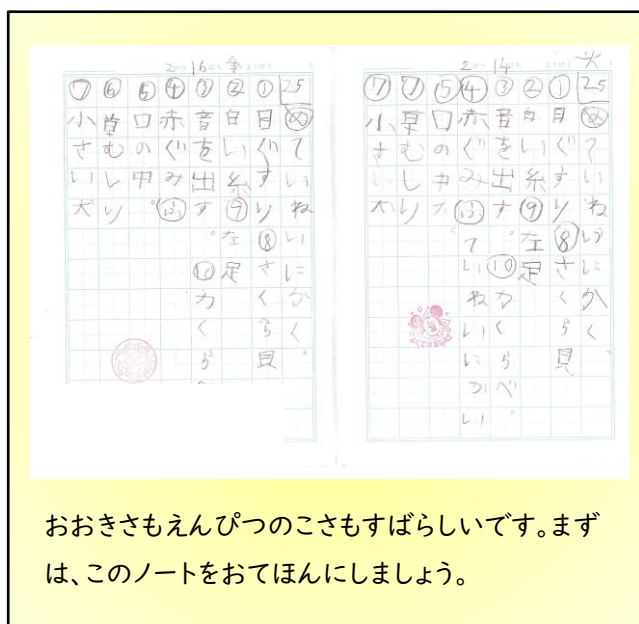
	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)
^{しゅくだい} 宿題	キュビナ	かん字ドリル 52	キュビナ	かん字ドリル 53	キュビナ

<5つのルール>

- ①日づけを かく
- ②とりくむことを かく
- ③じかんを かく
- ④めあてを かく
- ⑤ふりかえりを かく

かていがくしゅうきょうかしゅうかん
 <家庭学習強化週間>

- ① 8月31日(月)～9月 4日(金)
- ② 2月15日(月)～2月19日(金)



おおきさもえんぴつのこさもすばらしいです。まずは、このノートをおてほんにしましょう。

<ご家庭にお願いと確認>

- ・ノートをご用意ください。
- ・交互に使用していきます。普段使っているノートと同じ規格で構いません。
- ・低学年のうちは、おうちの方に○つけをお願いします。ご協力お願いします。
- ・月曜日に提出します。担任が確認し、次の日の朝までに返却します。

小学1年生の家庭学習 ～がんばってつくえにむかおう！～

何もかも知りたい、できるようになりたい気持ちでいっぱいこの時期です。
家庭での学習は、家庭の手助けが全面的に必要です。

学習時間の目安は、
10分+10分以上。

1 小学1年生で身につけたい力

- ① 鉛筆を正しく持つことができる。
- ② 大きな声ではっきりと話すことができる。
- ③ 平仮名、片仮名が読め、書ける。
- ④ 助詞（て、に、を、は）を適切に使い分けて文章が書ける。
- ⑤ 80字の新出漢字の読み書きができる。
- ⑥ 足し算・引き算ができる。
- ⑦ 時計が読める。



2 かていがくしゅうをするときには（お子さんとお読み下さい）

- ① テレビをけして、がくしゅうしましょう。
- ② つくえのうえとまわりをきれいにしましょう。
- ③ はじめにしゅくだいをしましょう。
- ④ 「3の に書かれていること」をさんこうに、がくしゅうしてみましょう。
- ⑤ あしたのよういをしましょう。

3 こんなことをしてみましょう

- がっこうでがくしゅうしたノートをみて、じがくノートにかきうつす。
- おんどく
 - ・こくごかの きょうかしよを おおきなこえでよみましょう。
 - ・「、」「。」にきをつけて、すらすらよめるように れんしゅうしましょう。
- ししゃ
 - ・こくごの きょうかしよを ていねいに うつしましょう。
- もじの れんしゅう（ひらがな、かたかな、かんじ）
 - ・おてほんを よくみて、かきじゅんに きをつけて かきましょう。
 - ・「とめ」「はね」「はらい」に きをつけて かきましょう。
- さんすうか
 - ・きょうかしよの もんだいを やってみましょう。
 - ・プリントや ドリルの もんだいを やってみましょう。
 - ・まちがったもんだいを もういちど やりなおしましょう。
- タブレットがくしゅう
 - ・「タブレットドリル」のもんだいを くりかえし やってきましょう
- そのほか
 - ・けんぱんハーモニカの れんしゅうと すきなえほんを よみましょう。

はなかわみなみしょう かていがくしゅう ほうほう
花川南小「家庭学習」の方法（2年生）

もくひょう ぶんいじょう
目標：30分以上（学年×10+10分）

*まずは、ノートを使って宿題にとりくみましょう。

*なれてきたら、自主学習にもチャレンジしましょう。

*自分で課題を決めて、自主学習ができるようになろう。

<学年通信> *「くりかえし漢字ドリル」と「キュビナ」を使います

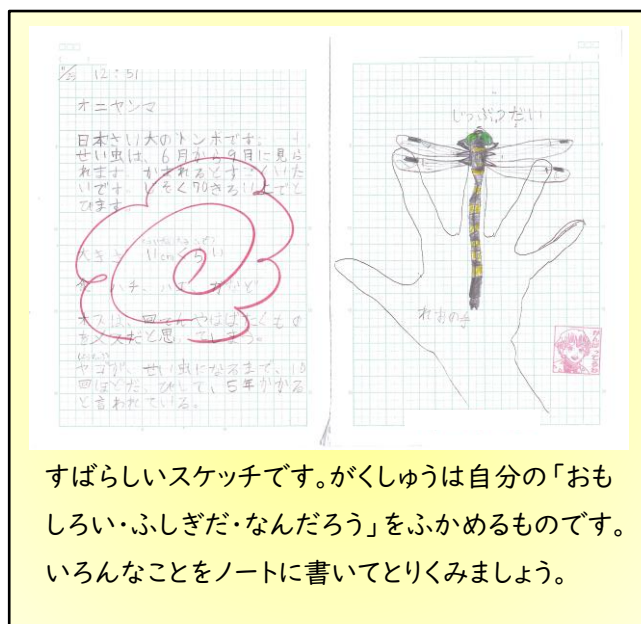
	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)
宿題	キュビナ	かん字ドリル 52	キュビナ	かん字ドリル 53	キュビナ

<5つのルール>

- ①日づけを書く
- ②取り組むことを書く
- ③取り組んだ時間を書く
- ④めあてを書く
- ⑤ふり返りを書く

かていがくしゅうきょうかきゅうかん
 <家庭学習強化週間>

- ① 8月31日(月)～9月 4日(金)
- ② 2月15日(月)～2月19日(金)



すばらしいスケッチです。がくしゅうは自分の「おもしろい・ふしぎだ・なんだろう」をふかめるものです。いろんなことをノートに書いてとりくみましょう。

<ご家庭にお願いと確認>

- ・ノートをご用意ください。
- ・交互に使用していきます。今まで使用していたもので構いません。
- ・低学年のうち、おうちの方に○つけをお願いします。ご協力お願いします。
- ・月曜日に提出します。担任が確認し、次の日の朝までに返却します。

小学2年生の家庭学習

～毎日机に向かおう！～

「やったね」「よくできたね」の褒め言葉がやる気に繋がります。家での学習は、家族の手助けがまだ少し必要です。

学習時間の目安は、
20分+10分以上。

1 小学2年生で身につけたい力

- ① 教科書がすらすら読める。
- ② 順序よく話をしたり、書いたりできる。
- ③ 160字の新出漢字の読み書きができる。
- ④ 足し算・引き算の筆算ができる。
- ⑤ 九九がすらすら言える。
- ⑥ 長さや水のかさが分かる。



2 かてい学しゅうをするときには（お子さんとお読み下さい）

- ① テレビをけして、学しゅうしましょう。
- ② つくえの上とまわりをきれいにしましょう。
- ③ はじめにしゅくだいをしましょう。
- ④ 「3の に書かれていること」をさんこうに、学しゅうしてみましょう。
- ⑤ あしたのよういをしましょう。

3 こんなことをしてみよう

- 学校で学しゅうしたノートをみて、じ学ノートに書きうつす。
- 音どく
 - ・国語かのきょうか書を、大きな声で読みましょう。
 - ・「、」「。」に気をつけて、すらすら読めるようにれんしゅうしましょう。
- ししや
 - ・国語かのきょうか書の文しょうを、ていねいにうつしましょう。
- かん字のれんしゅう
 - ・お手本をよく見て、書きじゅんに気をつけて書きましょう。
 - ・「とめ」「はね」「はらい」に気をつけて書きましょう。
- 日記
 - ・できごとをよく思い出して書きましょう。
- さんすうか
 - ・きょうか書のもんだいをやってみましょう。
 - ・プリントやドリルのもんだいをやってみましょう。
 - ・まちがったもんだいをもう一どやりなおしましょう。
- タブレット学しゅう
 - ・「タブレットドリル」のもんだいを くりかえし やってきましょう
- そのほか
 - ・けんばんハーモニカのれんしゅうと、すきな本を読みましょう。

花川南小「家庭学習」の方法（3年生）

目標：40分以上（学年×10+10分）

*毎日宿題と自主学習に取り組みましょう。

*自分で課題を決めて取り組みましょう。

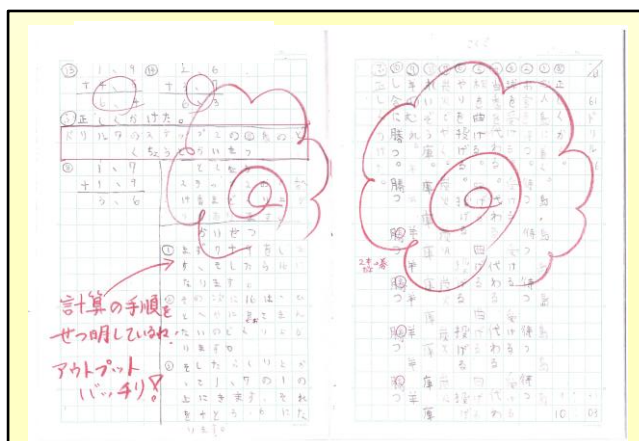
*自主学習をする時間をどんどんふやしていきましょう。

<5つのルール>

- ①日づけを書く
- ②取り組むことを書く
- ③取り組んだ時間を書く
- ④めあてを書く
- ⑤ふり返りを書く

かていがくしゅうきょうかしゅうかん <家庭学習強化週間>

- ① 8月31日（月）～9月 4日（金）
- ② 2月15日（月）～2月19日（金）



どういうじゆんばんで計算をしたかが書かれています。どの教科でも、答えを出すだけでなく、自分がどのように考えたのかがわかるようにしましょう。

<ご家庭にお願いと確認>

- ・進んで取り組めるよう励ましの声かけをお願いします。
- ・宿題に関しては基本的に、キュビナで配信され、それを提出します。PCやインターネットを安全に使えるよう、ご家庭でも定期的にタブレットの使い方の確認をお願い致します。
- ・〇付けができる自主学習については、自分で〇を付けさせるようよろしくお願い致します。

小学3年生の家庭学習

～毎日机に向かおう！～

理科、社会科、総合的な学習の時間が始まる3年生、「急に勉強が難しくなった」と戸惑いをもつ子が出てきます。自信をもたせたり、意欲をもたせたりするような励ましが大切です。

学習時間の目安は、
30分+10分以上。

1 小学3年生で身につけたい力

- ① 200字の新出漢字の読み書きができる。
- ② 筋道を立てて分かりやすく話したり、書いたりできる。
- ③ 国語辞典を使って言葉を調べられる。
- ④ わり算や簡単な小数・分数のたし算・ひき算ができる。
- ⑤ 計量器を使って重さが読める。



2 かてい学習をするときには（お子さんとお読み下さい）

- ① テレビを消して、学習しましょう。
- ② つくえの上とまわりをきれいにしましょう。
- ③ はじめに宿題をしましょう。
- ④ 「3の に書かれていること」をさんこうに学しゅうしてみましょう。
- ⑤ あしたの用意をしましょう。

3 こんなことをしてみましょう

《国語科》

○音読、視写、漢字練習

・国語科の基本となる内容です。こつこつ努力すると、力が付いてきます。

○日記…1日の出来事や思ったことを思い出して書いてみましょう。

○意味調べ……国語辞典をどんどん使ってみましょう。

○ローマ字練習…初めて習うローマ字の練習をしてみましょう。

○ことわざ調べや「きへん」の漢字集め等をやってみましょう。

《算数科》

○教科書やプリント、ドリル、テストでまちがった問題をやってみましょう。

・かけ算のひっ算やわり算は、問題を多くといてみましょう。

○コンパスを使って、もようを書いてみましょう。

《社会科・理科》

○きょうみがあることを、図かんで調べてみましょう。

○じっけんしたことやかんさつしたことをノートにまとめてみましょう。

《タブレット学習》

○「タブレットドリル」を利用して、漢字練習や計算練習をしましょう。

○NHK for school など学習に関する動画を見て、学習しましょう。

《その他》

○学校で学習したノートを見ながら、自学ノートに書き写しましょう。

○リコーダーの練習をしましょう。

○いろいろなしゅるいの本をえらんで、読みましょう。

小学4年生の家庭学習

～予習や復習をしっかりとろう！～

「話し言葉」から「書き言葉」の獲得の時期となります。見たり触ったりできない抽象的な言葉が大変多くなり、直感的な思考から論理的な思考へと変わる時期です。好奇心が旺盛になり行動範囲が広がります。

1 小学4年生で身につけたい力

- ① 202字の新出漢字の読み書きができる。
- ② ローマ字の読み書きができる。
- ③ 指示語や接続語の意味が分かる。
- ④ 国語辞典や漢字辞典を使って言葉を調べられる。
- ⑤ わり算の筆算ができる。
- ⑥ 小数の足し算や引き算、小数×整数、小数÷整数ができる。
- ⑦ コンパスや分度器を正しく使うことができる。
- ⑧ 地名が調べられ、47都道府県を覚えられる。

学習時間の目安は、
40分+10分以上。



2 家庭学習をする時には

- ① テレビは消して、つくえの上とまわりをきれいにしましょう。
- ② はじめに宿題をしましょう。
- ③ 「3の□□に書かれていること」を参考に、学習してみましょう。
- ④ 明日の用意をしましょう。

3 こんなことをしてみましょう

《国語科》

- 音読・視写・漢字練習
- 意味・画数・部首調べ
- 漢字の成り立ち調べ
- ことわざ調べ
- 日記
- 物語作り
- ドリル

《算数科》

- 教科書問題
- ドリル、プリント
- 自作問題(計算、文章)
- 分度器、三角定規で作図
- 表やグラフを書く

《タブレット学習》

- タブレットドリルやL-Gateなど
- NHK for schoolなど学習に関する動画の視聴。
- タイピング練習・キーボード操作

《社会科》

- 地図記号調べ
- 都道府県名調べ
- 県庁所在地調べ
- 日本地図を書く
- 川、平野、山脈調べ
- 北海道〇〇ベスト10
- 日本〇〇ベスト10

《理科》

- 実験、観察をまとめる
- 図鑑で調べる
 - ・植物や動物
 - ・太陽、月、星座
- 天気、気温調べ

《その他》

- 学校で学習したノートを見て、自学ノートに書き写す。
- 読書
- リコーダーの練習

花川南小「家庭学習」の方法（5年生）

目標：60分以上（学年×10+10分）


- *毎日宿題と自主学習に取り組みましょう。
- *自主学習をする時間をどんどん増やしていきましょう。
- *発展的な学習にも積極的にチャレンジしましょう。
- *ふり返りをしっかり行い、次の学習に生かしましょう。

< 5つのルール >

- ①日づけを書く
- ②取り組むことを書く
- ③取り組んだ時間を書く
- ④めあてを書く
- ⑤ふり返りを書く

かていがくしゅうきょうかしゅうかん
<家庭学習強化週間>

- ① 8月31日（月）～9月 4日（金）
- ② 2月15日（月）～2月19日（金）



国語や算数、保健など、ノートをうまく活用できると、これほどすっきりしたものが作れます。自分に必要な学習は何かをハッキリさせて取り組みましょう！

<ご家庭にお願いと確認>

- ・進んで取り組めるよう励ましの声かけをお願いします。
- ・宿題に関しては基本的にキュビナで配信され、それを提出します。PCやインターネットを安全に使えるよう、ご家庭でも定期的にタブレットの使い方の確認をお願い致します。
- ・〇付けができる自主学習については、自分で〇を付けさせるようよろしくをお願いいたします。

小学5年生の家庭学習

～計画的に学習しよう!～

家庭科の学習が始まり、社会や世界に向けた学習もします。得意な科目、好きな分野が見つかり、勉強好きになるきっかけになります。

1 小学5年生で身につけたい力

- ① 考えたことや伝えたいことを的確に話したり、書いたりすることができる。
- ② 193字の新出漢字の読み書きができる。
- ③ 小数×小数、小数÷小数ができる。
- ④ 異分母のたし算やひき算ができる。
- ⑤ 分数×整数、分数÷整数ができる。
- ⑥ 割合、百分率を使った問題を解くことができる。
- ⑦ 世界の主な国の位置が分かる。

学習時間の目安は、
50分+10分以上。



2 家庭学習をする時には

- ① テレビは消して、机の上や周りをきれいにしましょう。
- ② まず、宿題をしましょう。
- ③ 3の□を参考に、自分に必要な学習を考え、苦手を克服したり、得意なことを増やしたりする学習をしましょう。
- ④ 明日の用意をしましょう。

3 こんなことをしてみましょう

《国語科》

- 音読・視写・漢字練習
 - ・意味・画数・部首調べ
 - ・漢字の成り立ち調べ
 - ・ことわざ調べ
- 日記
- ドリル

《算数科》

- 教科書問題
- ドリル、プリント
- 自作問題(計算、文章、面積)

《社会科》

- 農業生産物調べ
- 水産物調べ
- 工業製品調べ
- 都道府県名調べ
- 県庁所在地調べ
- 国名・首都調べ
- 日本、世界地図を書く

《理科》

- 実験、観察をまとめる
- 図鑑で調べる
 - ・植物や動物
 - ・太陽、月、星座
- 天気、気温調べ

《外国語》

- アルファベット(大文字・小文字)
- 英単語
- あいさつや自己紹介、質問などの表現

《タブレット学習》

- タブレットドリルやL-Gateなど
- 学習に関する動画の視聴。
- タイピング練習・キーボード操作
- 調べ学習(インターネット検索)

《その他》

- 読書、新聞を読む
- リコーダーの練習

花川南小「家庭学習」の方法（6年生）

目標：70分以上（学年×10+10分）

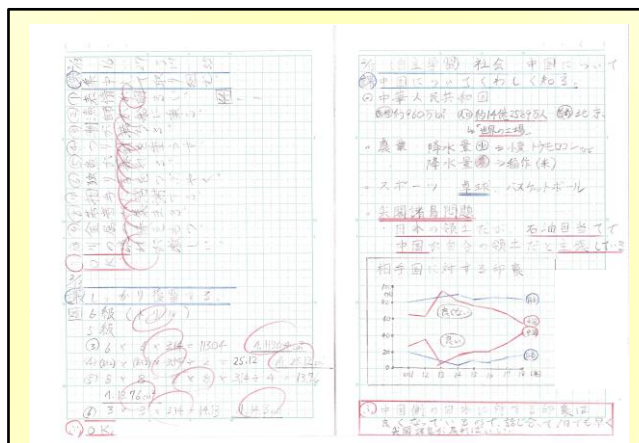
- *毎日宿題と自主学習に取り組みましょう。
- *自主学習をする時間をどんどん増やしていきましょう。
- *6年間の復習や発展的な学習にもチャレンジしましょう。
- *ふり返りをしっかり行い、次の学習に生かしましょう。

<5つのルール>

- ①日づけを書く
- ②取り組むことを書く
- ③取り組んだ時間を書く
- ④めあてを書く
- ⑤ふり返りを書く

かていがくしゅうきょうかしゅうかん
<家庭学習強化週間>

- ① 8月31日（月）～9月 4日（金）
- ② 2月15日（月）～2月19日（金）



図やグラフから読み取ったことをノートに書き表して、学びを深めています。問題を解くだけでなく、自分で課題を深めるノートを目指しましょう。

<ご家庭にお願いと確認>

- ・進んで取り組めるよう励ましの声かけをお願いします。
- ・宿題に関しては基本的にキュビナで配信され、それを提出します。PCやインターネットを安全に使えるよう、ご家庭でも定期的にタブレットの使い方の確認をお願い致します。
- ・〇付けができる自主学習については、自分で〇を付けさせるようよろしくお願いいたします。

小学6年生の家庭学習

～見通しをもち、計画的に学習しよう！～

小学校の学習のまとめをして、中学校へ繋げる大切な学年です。競争心が芽生える時期ですので、よい友人関係の中で自分を高めていくことが大切です。

1 小学6年生で身につけたい力

- ① 考えたことや伝えたいことを的確に話したり、書いたりすることができる。
- ② 小学校で習得すべき1026字の漢字が読め、8割以上が書ける。
- ③ 181字の新出漢字の読み書きができる。
- ④ 分数×分数、分数÷分数ができる。
- ⑤ 速さや道のりの問題を解くことができる。
- ⑥ 歴史上の事件や人物についておおよそ分かる。

学習時間の目安は、
60+10分以上。
中学へ向けてプラスα
の時間をもとう！



2 家庭学習をする時には

- ① テレビは消して、机の上や周りをきれいにしましょう。
- ② はじめに宿題をしましょう。
- ③ 3の□を参考に、自分に必要な学習を考え、苦手を克服したり、得意なことを増やしたりする学習をしましょう。
- ④ 明日の用意をしましょう。

3 こんなことをしてみましょう

《国語科》

- 音読・視写・漢字練習
- 意味・画数・部首調べ
- 漢字の成り立ち調べ
- 四字熟語調べ
- ことわざ調べ
- 新聞記事への感想
- ドリル

《算数科》

- 教科書問題
- ドリル、プリント
- 自作問題（計算、文章、体積）

《社会科》

- 歴史上人物調べ
- 歴史年表作り
- 都道府県名調べ
- 県庁所在地調べ
- 国名・首都調べ
- 日本、世界地図を書く

《理科》

- 実験、観察をまとめる
 - ・図鑑で調べる
 - ・植物や動物
 - ・太陽、月、宇宙
 - ・地層
 - ・天気、気温調べ

《外国語》

- アルファベットや英単語
- あいさつや自己紹介、質問などの表現

《タブレット学習》

- タブレットドリルやL-Gateなど
- 学習に関する動画の視聴。
- タイピング練習・キーボード操作
- 調べ学習（インターネット検索）

《その他》

- 読書、新聞を読む
- 学校で学習したノートを見て、自学ノートにもう一度、復習。